



医療連携ニュース



2024年10月号

発行 東海大学医学部付属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

秋冷の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部付属八王子病院医療連携ニュース2024年10月号を発行いたしました。
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただく、一助となれば幸いです。

患者支援センター所長 小田 真理、 医療連携室長 角田 隆俊

患者さんの満足度が高い形成・再建手術を心がけています



東海大学医学部付属八王子病院
形成外科 講師 今川 孝太郎 医師

【専門分野】

形成外科一般、乳房再建手術、マイクロサージャリー手術

【専門医・認定医】

日本形成外科学会指導医・専門医、日本レーザー医学会専門医、
日本創傷外科学会専門医、再建・マイクロサージャリー分野指導医

形成外科では主として体表面の形態異常を組織移植等の手術手技により再建し、患者さんのより早期の社会復帰や社会適応を促す治療を行っています。

私は特にマイクロサージャリーによる遊離組織移植術を専門としております。頭頸部がんや乳がん切除後の再建として自家組織による遊離皮弁移植手術や陳旧性顔面神経麻痺に対する遊離筋移植術を行っております。悪性腫瘍術後や外傷の再建手術は、創の閉鎖が得られれば良いという時代は終わり、病前と変わらないレベルの良好な形態に回復される事が求められています。患者さんの満足度を高めるために形態・機能両面の回復を重視した再建をなるべく低侵襲な術式で行うことを心がけて診療にあたっています。また、眼瞼下垂手術やレーザー治療も専門としております。この分野はアンチエイジングとして注目され、特に加齢性の眼瞼下垂手術は増加しておりますが、機能面のみならず審美性を重視し患者さんのご希望にそのような手術結果を心がけて診療を行っております。レーザー治療はメラニン色素性疾患に対するQスイッチルビーレーザー、血管性色素疾患に対する色素レーザー治療を行っていますので対象の患者さんがいらっしゃいましたらご紹介いただけますと幸いです。

形成外科で扱う疾患は多岐に渡りますが、当施設では小児先天異常、皮膚腫瘍、外傷(顔面外傷、熱傷)、乳がんや頭頸部がんの切除後再建、レーザーを用いたあざ治療、褥瘡や難治性潰瘍など、形成外科領域の疾患をほぼ網羅した診療を形成外科のトレーニングを積んだスタッフと共に対応しています。

引き続きのご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



手術風景

東海大学医学部附属八王子病院 医療連携の会 報告

2024年10月7日に「東海大学医学部附属八王子病院 医療連携の会」を開催いたしました。当日は146名と多くの方々にご参加いただきましたこと職員一同心より感謝申し上げます。

本会は連携医療機関の皆様との顔の見える関係の構築と、地域の中核病院である当院の医療活動にご理解をいただくことを目的に2019年に第1回目を開催し、コロナ禍を経て今回第3回目を開催することができました。

当院は地域医療支援病院として、地域において第一線で医療に携わっておられる先生方を支援し、地域で完結できる医療体制を構築していきたいと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



開会挨拶(野川 病院長)



来賓ご挨拶(八王子市長 初宿 様)



特色ある治療紹介(消化器外科 鍋島 教授)



来賓ご挨拶(八王子市医師会長 鳥羽 先生)

医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 * 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30